

家畜衛生だより 平成31年4月号

紀北家畜保健衛生所 電話 073-462-0500
紀南家畜保健衛生所 電話 0739-47-0974
紀南家畜保健衛生所 東牟婁支所 電話 0735-58-1481

豚コレラ、アフリカ豚コレラ等の防疫対策の強化について

○国内で豚コレラの感染が続発！

平成30年9月9日に岐阜県で豚コレラが発生し、その後も愛知県、長野県、滋賀県、大阪府でも発生が確認されています。直近では平成31年4月10日に愛知県の養豚場で発生しました。発生地域（岐阜県及び愛知県）では、これまでに多数の野生イノシシでも豚コレラ感染が確認されており、その地域も拡大しています。

本病の発生防止のため、引き続き、以下の衛生管理の徹底をお願いします。

- 衛生管理区域、畜舎への出入りの際の車両や長靴の洗浄・消毒の徹底
- 飼料に肉および肉製品を含むまたは含む可能性がある場合は、十分に加熱処理
- 野生動物との接触防止：農場周囲の柵の確認・補修等の徹底

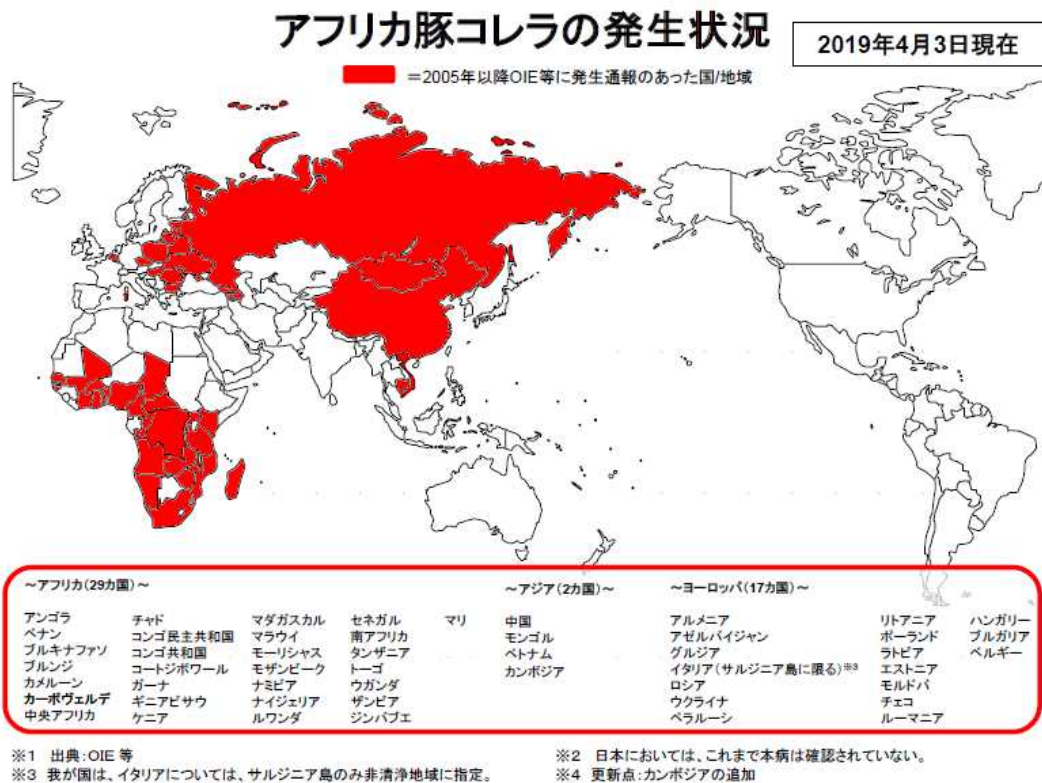
今回流行している豚コレラは特徴的な症状がなく、気が付きにくい疾病ですが、発熱、食欲不振、死亡豚が増える、死産が続くなど異常を見つけたら、速やかに家畜保健衛生所にご連絡ください。

○中国等でアフリカ豚コレラが流行中！生きたウイルスを検疫で確認！

中国、モンゴル、ベトナムでアフリカ豚コレラが流行しています。アフリカ豚コレラの症状は豚コレラに類似し、発熱や全身の出血性病変を特徴とする致死率の高い伝染病です。

また、平成31年1月に中国から持ち込まれた豚肉製品から、生きたアフリカ豚コレラウイルスが検出されました。国内で本病の発生はこれまで確認されていませんが、

国内への侵入リスクが高まっています。豚コレラと同様に、衛生管理の徹底をお願いします。



○人の往来が増えるゴールデンウィークに向けて警戒を！

海外では豚コレラやアフリカ豚コレラの他にも様々な家畜伝染病が発生しています。平成31年1月に韓国で口蹄疫、平成31年3月に中国で高病原性鳥インフルエンザが発生しました。国内でも前述のとおり豚コレラの感染が続発しており、野鳥の糞便から低病原性鳥インフルエンザウイルスも検出されています。

海外旅行者は年々増加し、ゴールデンウィークには海外と日本を往来する旅行者が増え、国内でも人の往来が増えます。人や車両等を介したウイルスなどの病原体の移動が懸念されます。

農場への関係者以外の立入の制限や、出入りする車両消毒の徹底など、改めて、飼養衛生管理基準の遵守状況を確認し、発生の予防の徹底をお願いします。

気になることや不明な点がありましたら、最寄りの家畜保健衛生所までお問い合わせください。